

平成29年度第2回産業衛生技術部会拡大幹事会 資料

日時：平成29年11月24日(金) 12:00～

会場：高知県立県民文化ホール 4階 第6多目的室（第3会場）

出席(予定、敬称略・順不同)：

加藤隆康、田中 茂、森 洋、中村憲司、中元健吾、圓藤陽子、田口豊郁、浜井盟子、
弘田量二、伊藤昭好、宮内博幸、對木博一、野原誠一郎、原 邦夫、津田洋子、村田 克、
照屋浩司（担当理事）

添付：平成30年度部会予算案、「個人サンプラーを活用した作業環境管理のための専門家検討会」開催要項

1. 第27回日本産業衛生学会全国協議会会期中の産業衛生技術部会行事

平成29年11月24日(金) 高知県立県民文化ホール

9:00-9:50、グリーンホール（第2会場）

産業衛生技術専門研修会

座長：宮内 博幸・産業医科大学 教授

「地元企業の労働衛生管理の実際」小松 千秋・ヤンマー農機製造株式会社

「化学物質の経皮曝露とその防護について」田中 茂・十文字学園女子大学大学院 教授

10:00-12:00、グリーンホール（第2会場）

産業衛生技術シンポジウム

テーマ「大規模災害時のリスク対応」

座長：加藤 隆康・産業衛生技術部会部会長、中原 浩彦・JXTGエネルギー

「危険物事故への対応～現場安全の確保～」萩原 貴浩・海上災害防止センター 防災部長

「原子力関連施設における災害時対応」中村 尚司・東北大学名誉教授

12:00～、4階 第6多目的室（第3会場）

平成29年度第2回産業衛生技術部会幹事会

2. 第91回日本産業衛生学会（2018.5/16-19、熊本市民会館ほか）における部会行事について

・部会総会および幹事会

・産業衛生技術専門研修会（地元企業の労働安全衛生管理の実際）5/19午前

講師：安部太喜・黒崎播磨株式会社、宮近大輔・三菱重工業長崎造船所

・産業衛生技術フォーラム 5/19午後

テーマ案：我が国におけるオキュペイショナルハイジニストの育成や活用、展開

内容、講師案：

・総論と諸外国の実情、橋本・東工大

・我が国の現状、日本作業環境測定協会

・ISO 45001について、齊藤慎吾・中災防

（橋本先生）日測協飛鳥様には日測協オキュペイショナルハイジニストについてご講演いただくことで、了解を得ました。また、このフォーラムですが、もしもプレゼンターがもう少し増えても良いということでしたら、私が「オキュペイショナルハイジニストの世界的な動

向とIOHAの最近の活動」といったテーマで20~30分話させていただく事はできます。

3. 「化学物質の個人ばく露測定ガイドライン」英訳版 (“The Guideline for Personal Exposure Monitoring of Chemicals”) のJOH掲載

査読を終え、本文 (Appendixは電子版のみに掲載) を6分割して9月号から掲載開始。

4. 日測協と技術部会の協力関係について (オキュペイショナルハイジニスト資格に関して)

(橋本先生) 前回からの課題ですが、日測協 (飛鳥様) と覚書 (または同等の文書) を交わすことで相談しています。これから具体的な文面の検討に入ります。また、この件について技術部会担当理事には簡単に説明しておいた方が良いかと思っています (私見)。

5. (情報) 厚生労働省で「個人サンプラーを活用した作業環境管理のための専門家検討会」が10月からスタート (開催要項添付)

(橋本先生) 委員会には、技術部会の「個人ばく露測定に関する検討会」メンバーとしては村田先生と私が入っています。今後の議論に応じ、適宜「個人ばく露測定に関する検討会」の皆様にご意見を聞くこともあると考えています。

6. 次年度事業予算案 (添付) および事業計画案について

平成30年度産業衛生技術部会事業計画案 (部会長: 加藤 隆康)

1. 産業衛生技術フォーラムおよび産業衛生技術専門研修会を第91回日本産業衛生学会(熊本)において開催する。
2. 第28回産業医・産業看護全国協議会(東京)を他部会と共同で開催する。
3. 部会総会を第91回日本産業衛生学会(熊本)において開催する。
4. 部会幹事会を第91回日本産業衛生学会(熊本)および秋季に開催する。
5. 他の部会と協働して合同行事を開催する。
6. 各地方会と協働して産業衛生技術に関する研修会を開催する。
7. 産業衛生技術部会奨励賞の候補者を選考し、該当者を表彰する。
8. 6委員会の活動を行う。
(1) 企画運営委員会 (2) 教育研修委員会 (3) 広報委員会 (4) 企業安全衛生グループとの交流委員会 (5) 表彰委員会

7. その他

以上